

# 第3部

---

# 基本計画

FUKUSAKI  
MASTER PLAN

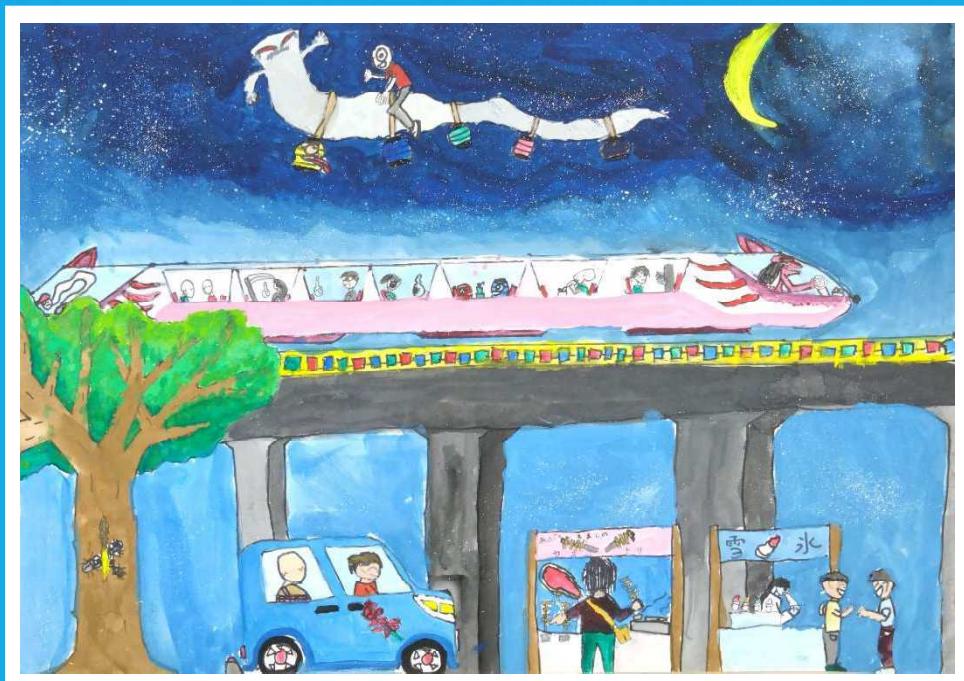


「福崎町の未来図ポスター」入賞作品 田原小学校 5年 よかわ こうた  
宜川 晃大



## 第1章

# ともに進める持続可能な まちづくり



「福崎町の未来図ポスター」入賞作品 福崎小学校 6年 のぎもと そうすけ 禾本 蒼祐

### 【施策の大綱】

- 施策1 多様な主体との協働の推進
- 施策2 効率的な行財政運営の推進
- 施策3 環境保全の推進

## 施策 01

# 多様な主体との協働の推進



## ■ 将来のあるべき姿

町民同士、また、町民や自治会、地域のボランティア団体、NPOなどと行政が連携して、ともに考えともに汗を流す協働のまちづくりが推進されているとともに、責任を分かち合いながら、活力ある地域社会を築いています。また、大学などの教育機関や企業・事業所、町内外の各種団体と連携・交流が図られ、魅力的なまちづくりが推進されています。

### 現状・課題

- 全国的に少子高齢化や人口減少が進み、地域においては、町民同士の交流が希薄になりつつあるなど、近年さまざまな課題が顕在化しています。「地域の課題は地域で解決する」といった活動や取り組みが求められています。
- 町内の企業や大学などとさまざまな分野で連携・交流を進めており、今後も多様な主体と連携したまちの活性化に努める必要があります。
- 広報誌やホームページなど、町に関する情報を積極的に発信しています。今後はSNSなどもうまく活用し、より多くの町民に関心・興味を持つもらうことができる情報発信に努める必要があります。

## ■ 施策の方向性

### ① 参画と協働の推進

ライフスタイルの変化や少子高齢化に伴い、地域の課題やニーズが多様化する中、さらなる地域活性化を図るため、団体・個人の強みをいかした協働による特色あるまちづくりを促進します。

また、積極的に町民から委員を募り、まちづくりの活動に参画できる機会を提供します。

#### 【主な関連事業】

- アドプト事業\*



▲余田アドプト事業推進グループの活動

## ②交流と連携の推進

社会構造の変化に伴い顕在化する町民同士の交流の希薄さや、孤独・孤立などのさまざまな課題を解消するため、自治会をはじめとする各種団体などのさらなる活性化や新たな取り組みを促進し、それらに対する支援に努めるとともに、町民同士の交流が行われる地域社会の実現をめざした地域コミュニティの醸成を図ります。

また、魅力的なまちづくりを進めるためには、新たな発想による取り組みが必要であるため、大学や高等学校、企業、各種団体などとの連携・交流を推進することで地域の活性化を図ります。

### 【主な関連事業】

- 自立(律)のまちづくり交付金事業\*

## ③ひらかれたまちづくりの推進

町や地域の現状・課題などの情報をより一層町民と共有していくことが求められているため、個人情報の保護に配慮しながら、さまざまな手段による広報・広聴活動や情報公開制度の適正な運用を図ります。

また、広報誌やホームページ、SNSなどを通して必要な情報を提供することで、町民の関心を高め、ひらかれたまちづくりを推進します。

### 【主な関連事業】

- まちづくり出前講座\*

### ■めざそう値

指標名	現状値 (令和4年)	目標値	
		令和10年	令和15年
「住みよいまち」と感じる住民の割合	85.9%	87.0%	90.0%
大学との連携事業	6件	10件	15件
ホームページのアクセス件数	141,866件	170,000件	200,000件
出前講座実施回数	37回	50回以上	50回以上

### 【関連計画】

- 福崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)



▲自立(律)のまちづくり活動のようす

## 施策 02

# 効率的な行財政運営 の推進



## ■ 将来のあるべき姿

新たな行政課題や社会経済情勢の変化に対応し、近隣市町との連携による広域的な事業が推進されています。また、選択と集中による予算配分、適正なマネジメントなどの経営感覚を意識した持続可能な財政基盤が構築され、時代に即した住民サービスの向上が図られています。

### 現状・課題

- 少子高齢化や人口減少、社会情勢の激変による景気の減速など極めて厳しい状況に置かれている中、地域の実情に合った行政運営と社会経済情勢の変化に応じた住民サービスの提供が必要とされ、自主性と自立性の高い行財政運営が求められています。
- マイナンバーカードを活用したオンライン手続きが一部で可能となり、利便性の向上につながっていますが、めまぐるしく変化するデジタル社会の進展に伴い、行政事務の簡素化やさらなる利便性の向上が求められています。
- 多様化する住民ニーズや行政需要、そして地方分権の推進に対応できる行財政運営が求められており、厳しい財政状況の中においては単独運営が困難な分野もあらわれています。近隣市町との事務の共同化などによる効率的で効果的な広域行政を推進する必要があります。

## ■ 施策の方向性

### ①持続可能な行財政運営

少子高齢化や人口減少などの社会情勢に対応するため、継続的に安定した行政サービスの提供に向けた行財政改革に取り組むとともに、庁舎をはじめとする公共施設の更新や改修、集約化、民間活力の活用などを検討し、効率的で効果的な行財政運営の推進を図ります。

また、税や料金の収納を強化するとともに、使用料の見直しやふるさと応援寄附金の増大を図り自主財源の確保に努めます。

## ②デジタル技術を活用した情報化

AI※などの先端技術を積極的に取り入れ、複雑多様化した行政課題の解決に活用していく必要があるため、国や県の補助制度などを有効活用しながら、スマート窓口※や電子申請など町民の利便性の向上や行政事務の効率化を図る自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)※に取り組みます。

## ③広域行政の推進

効率的な行財政運営には、広域のスケールメリット※をいかした事業連携が必要であるため、ごみ処理や消防・救急分野などにおいて、引き続き関係市町と連携しながら広域的な事業を推進します。

また、さまざまな分野における広域的な課題解決に向け、近隣市町と連携した取り組みを推進します。

## ④職員の人材育成

持続可能なまちづくりを進めるためには、職員がさまざまな行政課題への対応力や政策形成能力を身に付ける必要があります。多様な研修機会を活用しながら職務能力の向上を図ることで幅広い知識やスキル※を備えた職員の人材育成に努めます。

また、丁寧な接遇やコンプライアンス※、経営感覚の醸成など、町民から信頼される職員を育成します。

### ■ めざそう値

指標名	現状値 (令和4年)	目標値	
		令和10年	令和15年
実質公債費比率 <sup>(※1)</sup>	11.2%	10.6%	10.5%
ふるさと応援寄附金額	62,729千円	120,000千円	150,000千円
行政手続きオンライン化実施率 <sup>(※2)</sup>	39.0%	58.5%	87.8%

(※1)地方自治体の標準財政規模(一定の収入)に対し、借入金(地方債)の返済に支出された額の割合。

(※2)「デジタル社会の実現に向けた重点計画」に掲げられた、オンライン化に取り組む手続き項目に対する実施件数の割合。

### 【関連計画】

- 福崎町第6次定員適正化計画
- 福崎町第6次行政改革大綱
- 福崎町公共施設等総合管理計画
- 播磨圏域連携中枢都市圏ビジョン



▲職員研修のようす

## 施策 03

# 環境保全の推進



### ■ 将来のあるべき姿

循環型社会の構築をめざし、本町の地域資源である自然環境の保全と、ごみの発生抑制・再使用・再生利用(3R)など、ごみ処理の適正化が推進されています。また、町民、事業者及び行政が協力して地球温暖化防止、脱炭素社会の実現に向けて取り組むなど、環境意識の向上が図られています。

### 現状・課題

- 世界的に地球環境への意識が高まり、環境負荷の低減を図る取り組みが求められる中、本町では、エコカーの導入や庁舎内の照明、防犯灯のLED化などに取り組んでいます。今後も、町民、行政及び関係機関が一体となって環境を保全する取り組みを推進していく必要があります。
- ライフスタイルに応じて、発生するごみの量や質も変化する中で、本町では循環型社会の構築をめざしたごみの減量化、リサイクルなどの適正処理に取り組んでいます。今後は、これらをさらに推進するとともに、神崎郡3町が共同して令和10年度の新ごみ処理施設の稼働に向け、綿密に準備を進める必要があります。

### ■ 施策の方向性

#### ① 自然・生活環境の保全

自然保護の思想の浸透・意識の高揚を図るために、「自然歩道を歩こう大会」など自然に親しむ機会を提供するとともに、保護活動への支援、自然歩道の保全・整備に取り組みます。

生活環境の保全としては、各種法令、企業などと締結している「公害防止協定」に基づき、騒音・振動、大気・水質などの監視や指導を行います。

公共下水道の普及に伴い公共用水域の水質が安定する中、し尿等の処理量が減少を続ける中播衛生センターについては、今後の施設運営を検討しながら適正な維持管理を図ります。



▲自然歩道を歩こう大会

## ②環境意識の向上

国が掲げた2050年二酸化炭素実質排出量ゼロ(カーボンニュートラル)を受け、環境保護に加えて経渓成長もめざすGX(グリーントランスフォーメーション)\*の実現に向けて、町民、事業者及び行政が一体となって取り組めるよう引き続き環境意識の向上に努めます。

## ③ごみ減量化・リサイクルの推進

環境にやさしいライフスタイルへの転換を促進するため、食品ロスの削減やプラスチック使用製品廃棄物(製品プラスチック)\*の分別収集、再商品化に取り組み、家庭や事業所から出るごみの発生抑制・再使用・再生利用(3R)などを推進します。

## ④ごみ処理の適正化

神崎郡3町で共同して整備・設置する新ごみ処理施設の稼働に向け、3町及び中播北部行政事務組合で密に連携しながら、供用開始及びその後の安定した管理運営をめざします。

### ■めざそう値

指標名	現状値 (令和4年)	目標値	
		令和10年	令和15年
リサイクル率	11.0%	16.2%	20.0%
ごみ処理量	7,289t	7,032t	6,500t

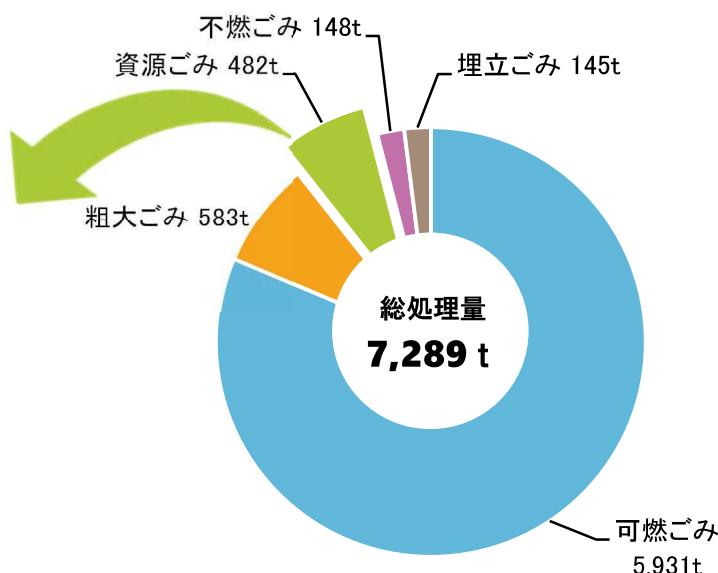
### 【関連計画】

- 福崎町地球温暖化対策実行計画
- 福崎町一般廃棄物処理基本計画

▼ごみ処理量(令和4年度)

#### ■資源ごみの内訳

古紙	202t
空ビン	80t
プラスティック製容器包装	75t
ミックスペーパー	43t
空カン	39t
ペットボトル	32t
布類	11t





## 第2章

# 学びを充実し文化を育む まちづくり



「福崎町の未来図ポスター」入賞作品 福崎小学校 6年 小國 芽唯

### 【施策の大綱】

- 施策1 魅力ある学校づくり
- 施策2 地域と連携した教育
- 施策3 生涯学習の推進
- 施策4 人権教育の推進
- 施策5 男女共同参画社会の推進
- 施策6 多文化共生社会の推進
- 施策7 スポーツ・レクリエーション
- 施策8 芸術・文化の振興

## 施策 01

# 魅力ある学校づくり



### ■ 将来のあるべき姿

確かな学力の定着、豊かな心と健やかな身体の育成が図られ、子どもたちがいきいきと充実した学校生活を送っています。

#### 現状・課題

- 子どもたちが「生きる力」を身につけ、充実した学校生活を送るためにには、知・徳・体の面から教育内容を充実し、学習指導や児童・生徒指導などの教育活動を支援していく必要があります。
- 学校施設の長寿命化は、多様なニーズに対応しながら計画的に進めています。
- GIGAスクール構想※で整備されたICT環境の向上により、情報教育の充実が図されました。今後は、さらなる環境の整備、理解度に応じた指導の充実を図る必要があります。

### ■ 施策の方向性

#### ①学校教育の充実

一人ひとりの子どもの特性や発達段階に応じて、自立して社会に参加する力を育むため、特別支援教育の充実や不登校児童生徒への支援に努めます。

また、教員一人ひとりが社会の変化に対応した教育観を培い、実践的な指導力の向上に努め、児童・生徒の学力の定着を図ります。

#### ②教育環境の整備

学校施設等長寿命化計画に基づき、計画的に学校施設の長寿命化を図るとともに、社会情勢の変化に即応した施設の改修に努めます。また、学校の実情に応じた安全体制を推進するとともに、子どもたちが安全に行動できる力を育成する教育の推進に努めます。

### ③情報教育の推進

GIGAスクール構想を核として、ICT機器の整備と教育活動への活用をより一層進め、情報教育の推進に努めます。

また、児童・生徒がさまざまな場面でICT機器を活用し、個別最適な学びの質を高めるとともに、教員が機器を活用し効果的な教育活動ができるよう、活用に向けた情報提供や研修を進めます。

### ④豊かな心・健やかな身体の育成

「心の教育」の充実を図るため、自他の生命の尊重、他者への思いやり、自立心や自律性などの豊かな心の育成に努めるとともに、思いやりに満ちた人間関係を築くことで、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に努めます。

また、運動習慣の定着と体力・運動能力の向上を図るため、体育学習や部活動など、学校教育活動全体を通して健やかな身体の育成に努めます。

#### 【関連計画】

##### ●福崎町学校施設等長寿命化計画



▲タブレットを用いた授業



▲部活動のようす

## 施策 02

# 地域と連携した教育



## ■ 将来のあるべき姿

保護者や地域住民が学校教育に積極的に参画し、信頼される学校づくりが推進されています。また、成長した子どもたちが、地域や社会の中で“ともに支えあう意識”や地域への愛着を持ち、積極的に地域活動に参加しています。

### 現状・課題

- 学校がより地域にひらかれたものとし、地域との協働により子どもを育てるため、保護者や地域住民に積極的に参画を求めることが必要です。
- 青少年の非行や犯罪の低年齢化傾向、ニートやひきこもりなどの問題を解消するため、青少年の置かれている現状を把握し、地域全体で健全育成に取り組む必要があります。
- 郷土への愛着を醸成するための「ふるさと学習」に継続して取り組んでおり、さらなる愛着を醸成するための学習や体験活動を推進する必要があります。

## ■ 施策の方向性

### ① 地域とともにある学校づくり

学校が抱える複雑・多様化した課題を解決するため、関連する協議会や団体、PTAなど、学校・家庭・地域が一体となった学校づくりに努めます。

また、地域スクールヘルパーなどと連携し、巡回パトロールなどを行い、子どもが安全で安心して学べる環境づくりに努めます。

## ②青少年の健全育成

ニートやひきこもり、インターネット利用によるトラブルなどの問題を解消するため、地域や家庭、学校、関係機関など社会全体で青少年の成長の支援に努めるとともに、相談支援、情報提供などの適切な対応に努めます。

また、家庭における教育力を向上させるため、子育て支援や家庭教育のあり方などについての啓発に努めます。

## ③地域資源をいかした人材育成

豊かな自然や、郷土の文化、伝統、歴史、偉人などの地域・文化資源をいかし、知識や知恵を世代間で受け継ぐ取り組みや学校教育への利活用により、子どもたちにふるさと意識の醸成や豊かな人間性を身につける取り組みに努めます。

### ■ めざそう値

指標名	現状値 (令和4年)	目標値	
		令和10年	令和15年
地域スクールヘルパー登録者数	390人	400人	400人
「住み続けたい・いずれ戻ってきたい」と思う子どもの割合	69.4%	75.0%	80.0%



▲スクールヘルパーの見守り活動



▲地域の方々による夏休み学習指導

## 施策 03

# 生涯学習の推進



## ■ 将来のあるべき姿

生涯を通して学びながら豊かで充実した生活を送ることができるよう、学びの場が充実しており、学んだ成果を発表し、地域活動にいかす取り組みが図られています。

### 現状・課題

- 社会情勢の変化により、個人がより充実した生活を送るために、生涯学習の果たす役割はますます重要になっています。これまでも、町民の学習意欲を満たし、生きがいとなる知識や情報を提供する取り組みを行ってきましたが、価値観の多様化が進む中、さらなる創意工夫にあふれた事業や人材の育成に努める必要があります。
- 活動施設の改修や利活用の方法を検討する必要があります。

## ■ 施策の方向性

### ①学びの場の充実

生涯を通して誰もが学習できる機会を提供するため、創意工夫にあふれた講座・教室の開設や人材育成に努めるとともに、活動拠点となる施設の改修などの検討を進めます。

また、情報発信の拠点となる図書館においては、より幅広い世代に利用してもらえるよう、イベントや蔵書の充実に努めます。

#### 【主な関連事業】

- 老人大学



▲老人大学発表会

## ②成果をいかす取り組みの推進

生涯を通して誰もが学習できる機会を設けるとともに、その成果を発表し、また、身につけた能力や技術を地域の活動で発揮できる場の充実に努めます。

### 【主な関連事業】

- まちの先生\*
- 公民館クラブ発表会
- 図書館応援隊活動

### ■ めざそう値

指標名	現状値 (令和4年)	目標値	
		令和10年	令和15年
老人大学受講者数	287人	350人	400人
図書館図書貸出人数(延べ人数)	44,133人	45,000人	50,000人

### 【関連計画】

- 福崎町子どもの読書活動推進計画（第2次）



▲サルビアセミナー



▲小学生の図書館見学

## 施策 04

# 人権教育の推進



## ■ 将来のあるべき姿

人権尊重が社会の文化として定着し、町民一人ひとりが互いを認めあう「共生社会」が実現しています。町民と行政が一体となって、家庭、地域、学校、職場などあらゆる場における人権教育・啓発を推進するとともに、人権課題の解決に向けて積極的に取り組んでいます。

### 現状・課題

- 本町では「差別を許さない明るい町宣言」を掲げ、行政、自治会、学校などさまざまな場において人権教育・啓発による差別のないまちづくりに努めてきました。近年、人々の価値観やライフスタイルの多様化により、人権課題はますます多岐にわたり複雑化しています。
- こうしたためまぐるしい変化の中において、基本的人権が尊重される地域文化を醸成するまちづくりに努める必要があります。

## ■ 施策の方向性

### ①人権啓発活動の推進

人権課題が複雑化する中、人権の尊重に関する理解を深め、性的マイノリティ※などすべての多様性を認めあいながら共に生きる共生社会の実現をめざすため、人権に対する正しい理解の普及を進めるなど、さまざまな啓発活動を推進します。

また、関係機関と連携しながら、人権相談の実施・周知に努めます。

#### 【主な関連事業】

- 人権・青少年健全育成フェスティバル

## ②人権教育の推進

児童・生徒に対し、さまざまな人権問題や差別、偏見の解消のため、教材や地域人材の効果的な活用など、多様な体験活動を通して人権に関する知的理解と人権感覚の育成を図ります。

また、町民一人ひとりの人権意識を高めるため、各自治会での学習会の充実を図ります。

### 【主な関連事業】

- 自治会研修会

### ■めざそう値

指標名	現状値 (令和4年)	目標値	
		令和10年	令和15年
自治会研修会への参加者数	771人	1,000人	1,300人

### 【関連計画】

- 福崎町男女共同参画基本計画



▲人権・青少年健全育成フェスティバル

## 施策 05

# 男女共同参画社会の推進



## ■ 将来のあるべき姿

性別に関係なく、それぞれの個性や能力を十分に発揮し、あらゆる分野において誰もが可能性を追求し、チャレンジできる社会が実現しています。

### 現状・課題

- 性別にかかわらず、それぞれの個性と能力を認め合い、尊重しあう男女共同参画社会の形成が求められています。「福崎町男女共同参画基本計画」に基づき、社会の意思決定の機会への女性の参画の拡大や仕事と家庭生活の両立、男女共同参画教育を推進していく必要があります。

## ■ 施策の方向性

### ①啓発活動の推進

家庭、地域、学校、職場などにおいて、性別による固定的な役割分担意識に基づく社会習慣・慣行の見直しや女性への人権侵害の解消を進める啓発活動を推進するとともに、誰もが豊かで充実した生活を送ることができるよう、ワーク・ライフ・バランス※の取り組みを促進します。

#### 【主な関連事業】

- ふくさき女性応援ねっと\*

### ②学習機会の充実

一人ひとりが個性や能力を発揮でき、社会における活動を自由に選択できるよう、関係機関と連携し、男女共同参画や女性の働き方に関するセミナーなどを通して、学習機会の充実に努めます。

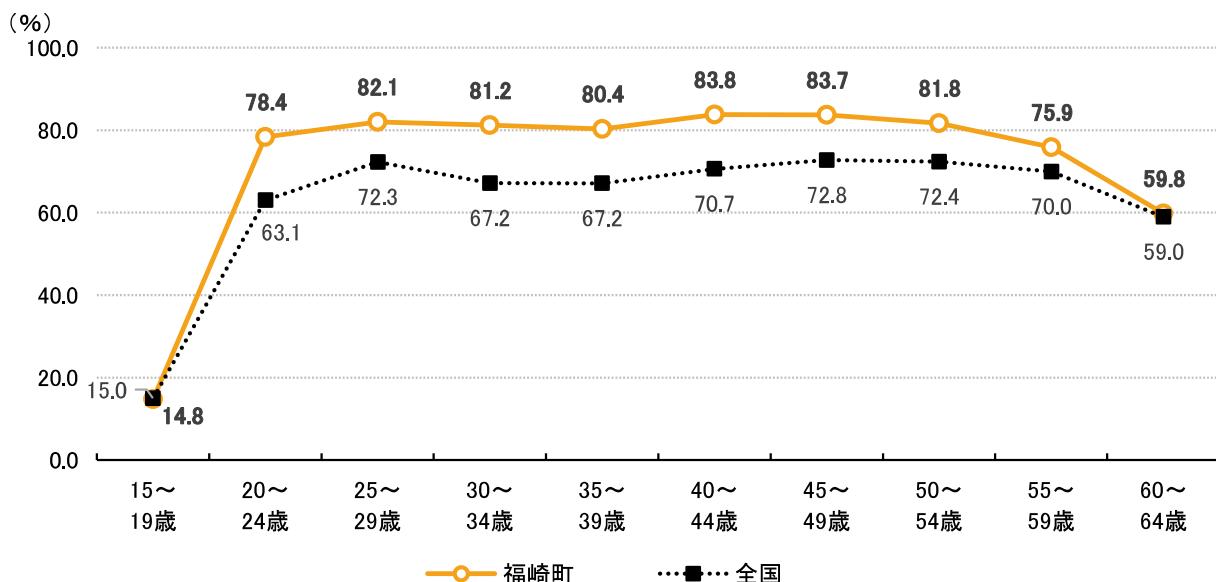
## ■ めざそう値

指標名	現状値 (令和4年)	目標値	
		令和10年	令和15年
審議会委員などへの女性登用率	26.1%	30.0%	35.0%

### 【関連計画】

#### ●福崎町男女共同参画基本計画

▼令和2年における女性の労働力率の状況



資料：国勢調査



▲ひょうご女性未来会議in福崎

## 施策 06

# 多文化共生社会の推進



## ■ 将来のあるべき姿

外国人と町民が、お互いの文化を理解し、多様な価値観を認めあいながら異文化交流が図られているとともに、相談支援体制や情報発信などにきめ細かな配慮がされ、外国人が安心して生活できる住みやすい環境が整っています。

### 現状・課題

- 社会経済や文化のグローバル化により、ひと・もの・情報などさまざまな分野で急速に国際化が進む中、小学校での外国語の教科化や町公式ホームページなどの多言語化、また「日本語サロン」などの国際交流事業に取り組んできましたが、とりわけ多くの外国人研修生が就労している本町では、今後さらなる異文化に対する理解・対応、国際感覚の醸成に向けた取り組みを充実させる必要があります。

## ■ 施策の方向性

### ①多様な価値観を認めあうひとづくり・まちづくりの推進

町内に在住する外国人が住みやすく、今後増加が見込まれる外国人観光客が訪れやすい環境を整えるため、多言語情報ツールや相談体制の充実を図るとともに、地域や学校などにおいて、言語や文化に対する理解を深める機会を通して多様な価値観を認めあうひとづくり・まちづくりに努めます。

### ②交流事業の推進

国際感覚を身につけていく取り組みを進めるため、地域や企業などと連携し、言語や文化の講座や教室の開催、また、積極的なホームステイの受入れを促進するなど、町民と外国人の交流事業を推進します。

#### 【主な関連事業】

- 日本語サロン

- 国際食文化交流の会

## ■ めざそう値

指標名	現状値 (令和4年)	目標値	
		令和10年	令和15年
日本語サロン受講者数(延べ人数)	246人	500人	600人

### ▼外国人の推移

国籍	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
オーストラリア	1	1	1	1	0
米国	2	2	1	3	3
英国	1	1	1	1	1
ブラジル	4	4	4	3	4
中国	280	237	192	116	96
インドネシア	40	32	13	10	22
カナダ	1	1	0	1	1
韓国及び朝鮮	24	20	19	20	21
ラオス	9	9	11	8	6
マレーシア	10	9	2	2	8
フィリピン	7	17	17	18	29
ベトナム	152	155	156	107	176
タイ	9	3	2	5	27
ネパール	12	18	16	10	22
インド	0	1	0	0	1
セネガル	1	1	1	1	0
ミャンマー	4	4	5	6	3
トリニダード・トバゴ	1	1	0	0	0
カンボジア	0	3	3	3	2
フランス	0	0	0	1	1
マリ	0	0	0	1	1
ウガンダ	0	0	0	1	1
バングラデシュ	0	0	0	1	0
ナイジェリア	0	0	0	1	1
スリランカ	0	0	0	0	1
パキスタン	0	0	0	0	1
モンゴル	0	0	0	0	1
計	558	519	444	320	429



▲国際食文化交流の会



▲日本語サロン

## 施策 07

# スポーツ・ レクリエーション



## ■ 将来のあるべき姿

すべての町民が、スポーツ・レクリエーションにふれあうことができるよう、生涯スポーツを楽しむことができる環境づくり、ライフステージに応じたスポーツの推進に取り組み、町民の健康増進・体力向上が図られています。

### 現状・課題

- 少子高齢化が進み、社会情勢がめまぐるしく変化する中、健康に長寿を享受できる社会の実現が求められ、生涯スポーツの必要性がますます高まっています。本町では、スポーツ施設の整備や備品の充実に努め、ニーズに応じた各種教室などを実施しています。今後は、さらに多様化する住民ニーズを把握するとともに、日常生活の中にスポーツ・レクリエーション活動を取り入れてもらうことが必要です。
- 近年、全国的にもスポーツへの関心が高まってきており、各分野で活躍する若者も増加しています。スポーツ団体などとの連携を図り、活動の支援やライフステージに応じた育成をすることが求められています。

## ■ 施策の方向性

### ①スポーツを楽しむことができる環境づくり

“みる・する・ささえる”スポーツを推進するため、指導者の育成・確保や施設の効率的な活用・運営に努めるとともに、スポーツ団体や地域団体、学校との連携を図ることで、スポーツを楽しむことができる環境づくりに努め、町民の健康増進・体力向上を図ります。

また、既存施設の老朽化に伴う改修を計画的に進めています。

## ②ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーションの推進

年齢、性別、障がいの有無などにかかわらず、すべての町民が生涯にわたって主体的・継続的にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができるよう、健康づくりやスポーツ・アウトドア教室、各種イベントの開催を通してライフステージに応じたスポーツ・レクリエーションの活動を推進します。

### ■めざそう値

指標名	現状値 (令和4年)	目標値	
		令和10年	令和15年
社会体育施設利用者数(※)	102,198人	135,000人	150,000人

(※)町民体育館、町民グラウンド、スポーツ公園、さるびあドームの年間利用者数の合計



▲ASハリマアルビオンの選手によるサッカー教室



▲グラウンドゴルフ大会



▲夏休みカヌー教室

## 施策 08

# 芸術・文化の振興



## ■ 将来のあるべき姿

多くの町民が芸術・文化活動へ積極的に参加し、活動成果の発表や交流による地域の活性化が図られています。

また、文化財の価値が広く共有され、地域社会全体で文化財の計画的な保存・活用が図られているとともに、「柳田國男生誕の地」や日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」などが全国的に認知され、辻川界隈の集客が高まっています。

### 現状・課題

- 本町では、文化センターやエルデホールを拠点に、多彩な芸術・文化活動を展開してきました。今後も、文化活動団体などと連携し、町民に芸術・文化に親しむ機会を継続して提供するとともに、活動や事業を発展させる必要があります。
- 文化財の保存と活用が実践されており、今後も継続して文化財保存活用地域計画に基づいた保存・活用を進めるとともに、町民主体による文化財の保存活用に関する取り組みの促進、支援をする必要があります。
- 福崎町が誇る偉人の顕彰を進めるとともに、その功績を広く情報発信しています。今後も、さまざまな工夫を加えながら顕彰、情報発信を行うとともに、友好都市との交流を継続・発展させていく必要があります。

## ■ 施策の方向性

### ① 多彩な芸術・文化活動の推進

関係団体と連携しながら、幅広い年代層が気軽に、積極的に参加できる芸術・文化活動を展開し、町民の芸術・文化にふれる機会の創出、意識の高揚と地域の活性化を図ります。

#### 【主な関連事業】

- エルデホール自主公演
- 公民館クラブ発表会
- 美術展
- 文化講演会



▲公民館クラブ発表会

## ②歴史文化遺産の保存と活用

福崎町の歴史や文化を守り、まちの活力づくり、風格づくりにいかしていくために策定された「福崎町文化財保存活用地域計画」に基づき、継続的な文化財調査の実施、適正な文化財の保存と活用に努めるとともに、大学などと連携し、町民主体の保存・活用に関する活動を推進します。

## ③「民俗学のふるさと」づくりの推進

福崎町の「民俗学のふるさと」としての魅力をより一層高めていくために、「民俗学」を身近に感じられる環境を創出します。

また、「民俗学のふるさと」に関連する町内の文化財をつなぎ、まちづくりにいかすとともに、観光協会などと連携し、大庄屋三木家住宅や柳田國男生家、日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」などの辻川界隈の地域資源を有効活用し、その魅力発信に努めます。

## ④先人の功績顕彰

名譽町民である柳田國男や吉讖雅夫をはじめとする福崎町の偉大な先人の功績をよりわかりやすく発信します。

また、「柳田國男ふるさと賞」や「吉讖雅夫科学賞」などの顕彰を進める取り組みを充実させ、福崎町を誇りに思う子どもたちを育てていきます。

### 【主な関連事業】

- 山桃忌
- 柳田國男ふるさと賞、吉讖雅夫科学賞
- 柳田國男検定

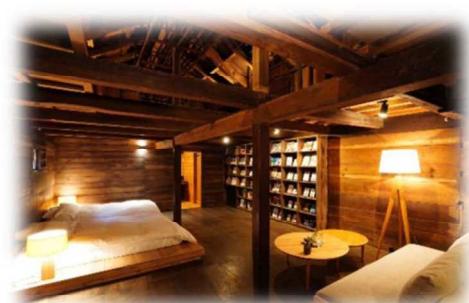
### ■めざそう値

指標名	現状値 (令和4年)	目標値	
		令和10年	令和15年
大庄屋三木家住宅(NIPPONIA)(※) 宿泊者数	1,820人	2,200人	2,700人
柳田國男・松岡家記念館入館者数	9,481人	12,000人	15,000人
エルデホール自主公演事業平均入場者数	248人	300人	300人

(※)県指定文化財である大庄屋三木家住宅の主屋以外の改修工事を行い、レストランやブックカフェなどを備えた複合型ホテル「NIPPONIA播磨福崎 蔵書の館」として令和2年11月にオープン。

### 【関連計画】

- 福崎町文化財保存活用地域計画



▲「NIPPONIA播磨福崎 蔵書の館」の一部屋



## 第3章

# 誰もが健やかに 暮らせるまちづくり



「福崎町の未来図ポスター」入賞作品 八千種小学校 5年 山岡 愛依

### 【施策の大綱】

- 施策1 子育て支援の充実
- 施策2 健康づくりの推進
- 施策3 保健・医療体制の充実
- 施策4 地域福祉の充実
- 施策5 高齢者福祉の充実
- 施策6 障がい者福祉の充実

## 施策 01

# 子育て支援の充実



## ■ 将来のあるべき姿

安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠期から子育て期にかけて包括的・継続的な支援体制や環境が整い、多様なニーズに対応した弾力的な保育サービスの充実と質の高い就学前教育・保育が推進され、子どもが健やかに成長しています。

## 現状・課題

- 女性の社会進出や子育て環境などの変化により、子どもを産み育てるための不安や経済的不安が大きくなっています。子育て世代における多様なニーズに対する支援の展開、施策の継続が求められています。
- 保育ニーズがますます多様化し、支援の必要な子どもや家庭が増加傾向にある中、本町では認定こども園での保育の取り組みや、子育て支援センターなどでの相談支援、学童保育の運営サービスの拡充を図ってきました。
- 今後は、安心して出産、子育てができ、「子育てがしやすい」と感じてもらえるまちの実現に向けてサービスの充実を図る必要があります。

## ■ 施策の方向性

### ① 妊娠・出産・育児の支援

経済的負担を軽減しつつ、安心して子どもを産み育てられるよう、不妊治療費や妊婦健診などの助成、「ふくさきっこステーション※」を中心とした情報提供と相談体制の充実など、妊娠期から子育て期にかけて支援を進めます。

#### 【主な関連事業】

- 子育て応援給付金給付事業※
- 産前産後サポート※・産後ケア事業※



▲ふくさきっこ子育てガイド

## ②地域全体で支える子育ての推進

子育て意識の向上を図るため、家庭、地域、行政などが連携し、子どもや子育て家庭を見守る環境を整え、地域ぐるみで子育てをサポートする体制づくりを進めます。

### 【主な関連事業】

●ふくさきっこステーション

●家庭自立相談※・すぐすぐ発達相談※

## ③子育てしやすいまちの実現

子どもがいきいきと健やかに育つ環境づくりを進め、保護者が働きながら安心して子育てができるサービスを提供するため、認定こども園や子育て支援センター、学童保育の適切な運営に努めるとともに、延長保育事業や一時預かり事業、病児・病後児保育事業など、多様なニーズに対応した子育てサービスの充実に努めます。

### ■ めざそう値

指標名	現状値 (令和4年)	目標値	
		令和10年	令和15年
「子育てがしやすいまち」と感じる住民の割合	56.8%	65.0%	70.0%
子育て支援事業(※)参加者数	7,928人	10,000人	10,000人

(※)子育て支援センター、子育て学習センター(西部・東部)で実施する親子教室や子育て講座、個別相談などの事業

### 【関連計画】

●福崎町第2期子ども・子育て支援事業計画

●福崎町すこやかヘルスプラン



▲「ガジロウの絵コンテスト」入賞作品

## 施策 02

# 健康づくりの推進



## ■ 将来のあるべき姿

ライフステージに応じた保健事業が充実しているとともに、町民が自主的に健康づくりに取り組み、誰もが生涯にわたって健康でいきいきと明るく暮らしています。

### 現状・課題

- 町ぐるみ健診や個別検診を実施し、未受診者に対する受診勧奨を行っていますが、依然として受診率は低い傾向にあります。町民自らが積極的に健康づくりに取り組む意識の向上に努める必要があります。
- 核家族化や女性の社会進出などの社会環境の変化に伴い、子育て世代や就労世代における家庭や個々の食育※力が低下している中、本町では食育に関するさまざまな取り組みを実施しています。今後は各種教室やイベントなどをさらに充実させ、町民の食育意識の向上を図る必要があります。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、ワクチン接種やさまざまな感染症対策に取り組んできました。今後変化していく町民の意識や生活スタイルに対応した情報提供や啓発に努める必要があります。

## ■ 施策の方向性

### ①保健事業の充実

誰もが受けやすい健診体制の整備と、健診に対しての意識啓発を充実させ、受診率の向上をめざすとともに、疾病の早期発見・早期治療のため、健診や健康相談の体制をより強化し、一次予防※や重症化予防※などの事業の充実に努めます。

#### 【主な関連事業】

- 町ぐるみ健診
- 特定保健指導※



▲町ぐるみ健診のようす

## ②食育の推進

食生活は健康に大きく影響を与えることから、家族ぐるみ、地域ぐるみ、また、関係機関と連携しながら、望ましい食習慣を実践できる取り組みを推進します。

また、学校給食における食育や地産地消を推進することで、生涯にわたる望ましい食習慣の形成や自己管理能力の育成を図ります。

### 【主な関連事業】

- 各種食育教室、食育イベント

## ③感染症対策の推進

町民の命と健康を守るために、国や県、医療機関と連携しながら、適切な感染症対策などの情報提供を行うとともに、予防接種法などに基づく適正なワクチン接種の実施に努めることで、感染症対策を推進します。

### ■ めざそう値

指標名	現状値 (令和4年)	目標値	
		令和10年	令和15年
特定健康診査(※)受診率(国保加入者)	37.8%	50.0%	50.0%
健康・食育教室参加者数	5,436人	7,000人	8,000人

(※)40歳から74歳の人を対象に、問診、身体測定、血液検査などをを行うことで、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)や高血圧、糖尿病などの生活習慣病を早期発見し、早期対策に結び付ける。

### 【関連計画】

- 福崎町すこやかヘルスプラン
- 福崎町国民健康保険第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画



▲幼児園での食育教室



▲ワクチン集団接種のようす

## 施策 03

# 保健・医療体制の充実



## ■ 将来のあるべき姿

保健・医療体制や医療費助成制度が充実しているとともに各種社会保障制度が適正に運営されており、誰もが健やかな生活を送ることができます。

### 現状・課題

- 「身近に総合病院がない」など、医療への関心・不安が高まる中、本町では、地域の医療機関と連携し、かかりつけ医の普及・啓発に努めています。今後も継続して適正な診療体制の充実を図り、町民の疾病予防、健康保持・増進を図る必要があります。
- こども医療費については、従来、中学生までを無償化の対象としていましたが、令和4年7月から高校生まで対象を拡大し、安心して医療機関を受診できる環境が拡充されています。今後も医療費の適正化に努め、医療保険制度の安定的な運営を推進する必要があります。
- 保健センターでは土曜開庁を実施しています。保健や医療に関する相談体制の整備や事業の拡充、また、関係機関との連携による支援体制が整えられており、今後も継続してきめ細かなサービスの提供に努めます。

## ■ 施策の方向性

### ①保健・医療体制の充実

住み慣れた地域で、いつまでも健やかに生活できるよう、関係機関と連携し、かかりつけ医の普及・啓発に努めるとともに、ICTなどを活用した保健・医療体制の充実に努めます。

また、ドクターヘリなど高度医療機関への迅速なアクセス体制の整備を図るとともに、救急医療や先進医療などの新たな医療制度の周知に努めます。

#### 【主な関連事業】

- 神崎郡在宅当番医制度事業

- 播磨姫路小児救急医療電話相談

## ②医療費助成制度の充実

誰もが安心して医療機関を受診できるよう、子ども、障がい者、高齢者やひとり親世帯など、医療の必要性の高い人や低所得者を対象にした医療費助成制度の充実に努めます。

## ③社会保障制度の普及・啓発

国民健康保険制度、後期高齢者医療制度、介護保険制度、国民年金制度については、安定的な財政運営や効率的な事業運営の確保が求められているため、医療費の適正化や収納率の向上に取り組むとともに、各種社会保障制度の普及・啓発に努めます。



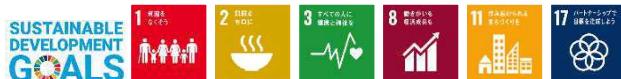
▲保健センター相談風景



▲乳幼児健診のようす

## 施策 04

# 地域福祉の充実



## ■ 将来のあるべき姿

行政や町民、社会福祉協議会、ボランティア団体、福祉事業者など、地域にかかわるすべての主体が、自発的・積極的にそれぞれの役割を担い、誰もが自立した生活を送ることができる共生社会が実現しています。

### 現状・課題

- 価値観の多様化や生活様式の変化により、町民同士の交流が希薄化する中、地域福祉の担い手不足の解消や地域をつなぐ仕組みづくりが求められています。
- 住宅や公共施設におけるバリアフリー化、巡回バスの運行による移動・買い物支援などのユニバーサル社会づくり※の意識が向上している中、引き続き支援体制の充実、生活の利便性の向上を図る必要があります。
- 急激な社会情勢の変化に伴い、生活困窮者やひとり親世帯からの相談が増加しています。引き続き関係機関と連携し、問題解決やサービス提供などの支援を充実する必要があります。

## ■ 施策の方向性

### ① 地域共生社会の実現

地域社会が抱える課題が複雑化しているため、地域福祉の担い手の発掘・育成、相談支援体制や地域での見守り体制の充実、一人ひとりのニーズに沿った支援など、地域のさまざまな団体や事業者などと連携し、包括的な支援の充実に努めることで、地域共生社会の実現をめざします。

#### 【主な関連事業】

- 自治会我が事会議※
- 緩和した基準によるサービスの担い手養成研修※

## ②ユニバーサル社会づくりの推進

誰もが安心して暮らせるよう、住宅改修に対しての相談や支援、公共施設のユニバーサルデザイン※に基づいた整備、ニーズに応じた巡回バスの運行による生活の利便性向上など、ユニバーサル社会づくりの取り組みを推進します。

## ③自立のための支援

生活困窮の課題を抱える町民が安心して社会参加ができるよう、関係機関と連携し、生活相談や就業支援の充実に努めるとともに、生活保護制度や資金貸付制度などの経済的援助を活用することで自立のための支援に努めます。

また、ひとり親世帯など支援が必要な人に対して、各種制度などによる生活基盤の安定化を図ります。

### 【主な関連事業】

- フードドライブ\*

### ■ めざそう値

指標名	現状値 (令和4年)	目標値	
		令和10年	令和15年
巡回バス利用者数(運行日1日あたり)	67人	80人	100人

### 【関連計画】

- 第9期福崎町ゴールドサルビアプラン

- 第3次福崎町障がい者プラン



▲巡回バス「サルビア号」



▲フードドライブ

## 施策 05

# 高齢者福祉の充実

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



## ■ 将来のあるべき姿

地域全体での支えあいや在宅福祉を中心とした地域包括ケアシステムが充実し、高齢者が健康で生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らしています。

### 現状・課題

- 本町の高齢化率は上昇傾向にあり、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、要介護高齢者、認知症高齢者も増加しています。すべての高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援のサービスを一体的に提供する地域包括ケアシステムの充実が求められています。

## ■ 施策の方向性

### ① 地域包括ケアシステムの充実

高齢化は今後も進み、介護や認知症、看取りなど、高齢者を取り巻く問題の増加が予測されるため、地域包括支援センターの機能強化や地域ケア会議、認知症対策の充実を図るとともに、町民や医療・福祉・介護関係機関などと連携し、地域ぐるみで支援する地域包括ケアシステムの充実を図ります。

また、在宅で介護をする家族の精神的・経済的負担の軽減や、介護と仕事の両立のための支援、介護サービスで補えない見守り支援などを行うことで介護者を支援します。

#### 【主な関連事業】

- 認知症サポーター※養成講座
- 高齢者等見守りネットワーク事業※
- 認知症カフェ※



▲コミュニティカフェ(認知症カフェ)「笑」

## ②介護保険サービスの充実

高齢者がいつまでもいきいきと暮らし続けることができるよう、居宅介護や施設介護、地域密着型サービス、介護予防のための地域支援事業など、良質な介護サービスの確保に努めます。

## ③生きがいづくり・社会参加の促進

高齢者が生涯にわたり自分らしく充実した時間を過ごせるよう、学習活動や交流活動の機会の充実を図るなど、地域社会で活躍できる環境づくりを進めるとともに、社会的孤立の防止に努めます。

また、健康に社会参加活動が続けられるよう、介護予防や認知症予防、生活支援の取り組みを推進します。

### 【主な関連事業】

- 一般介護予防事業（地域ふくろうの会※、ふれあい喫茶※、はつらつ広場※）

## ④成年後見制度利用の促進

高齢化の進行に伴い、一人暮らし高齢者や認知症高齢者の増加も予想され、成年後見制度の必要性が高まっていくと思われます。支援の必要な人の早期発見・早期対応に努め、適切な支援が行えるよう、サービス事業者や関係機関と連携を図ります。

### ■ めざそう値

指標名	現状値 (令和4年)	目標値	
		令和10年	令和15年
地域ふくろうの会参加者数	617人	800人	1,000人
認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	4,572人	5,700人	7,000人

### 【関連計画】

- 第9期福崎町ゴールドサルビアプラン



▲ふくろう体操

## 施策 06

# 障がい者福祉の充実

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



## ■ 将来のあるべき姿

障がいのある人もない人も支えあいながら、その人らしく暮らすことができるまちづくりが実現しています。

### 現状・課題

- 障がい福祉サービスの利用が年々増加している中、本町では「福崎町障がい者基幹相談支援センター」の開設による相談支援体制の強化や、障がい者福祉に係るさまざまな社会資源が充実しつつあります。今後は、多様化・複雑化するニーズに対応するため、さらなる相談支援体制の強化、社会資源の充実を図る必要があります。
- 障がいのある人の社会参加が進んでおり、共生社会の実現に向けた取り組みを推進する必要があります。

## ■ 施策の方向性

### ① 障がい福祉サービスの充実

障がいのある人の高齢化・重度化が進む中、福崎町障がい者基幹相談支援センターを中心に相談支援体制の強化を図るとともに、障がい福祉に係るサービスや制度、社会資源を充実させ、その人らしい生活を送れるよう支援に努めます。



▲障害者週間普及・啓発事業「ユニバーサルな文化祭」

## ②社会参加の促進

障がいのある人が地域で安心してその人らしい生活を送ることができるよう、障害者週間の普及・啓発や、イベント、講演会などの機会を通し、障がいに関する知識や理解を深めます。

また、就労や居場所の確保、情報の保障や権利擁護など、社会参加に必要な支援の充実を図ることで、障がいのある人の社会参加を促進します。

### 【主な関連事業】

- ふく咲マーケット※
- 居場所づくり事業※
- 「しごと」と「こころ」の相談会

### ■ めざそう値

指標名	現状値 (令和4年)	目標値	
		令和10年	令和15年
普及・啓発活動関連事業(※1)の実施回数	10回	10回	10回
社会参加関連事業(※2)の参加者数 (延べ人数)	126人	1,000人	1,500人

(※1)「手話ダンス甲子園」、「ふく咲マーケット」、「障がい者スポーツの日」などの、普及啓発を目的とした事業

(※2)「居場所づくり事業」、「就労相談会」、「手話奉仕員養成講座」などの、個人の社会参加を目的とした事業

### 【関連計画】

- 第3次福崎町障がい者プラン



▲第1回「手話ダンス甲子園」



▲ふく咲マーケット

